

# 競技注意事項

2016 中学選抜混成

1 本大会は2016年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

## 2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) ユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) 跳躍種目は胸または背につけるだけでよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバー標識」を配付する。  
ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさで明確に数字が読めるようにつける。
- (4) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却する。

## 3 ウォーミングアップについて

- (1) 本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、最初のトラック競技開始時刻15分前まで使用できる。  
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。  
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル  
それ以降の時間は競技役員の指示に従い、使用することが出来る。
- (2) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。

## 4 招集について

- (1) 招集所は第2コーナー外側器具庫付近に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	40分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	50分前	30分前
混成競技	最初の種目は上記のとおりとする。その後の種目は競技場所で20分前までに点呼する。		

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。

## 5 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、混成競技の最終種目を除いてプログラムの数字で示す。欠場者のレーンはあける。

## 6 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① すべて写真判定装置を使用する。
  - ② 短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。
- (2) フィールド競技について
  - ① フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
  - ② フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。
  - ③ ジュニア種目のフィールド種目は試技数を3回とする。

- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。  
(競技規則第144条)

## 7 走高跳のバーの上げ方 (ただし、天候等の状況により変更することがある。)

混成競技			練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
中学 四種	男子	走高跳	1m35	1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後3cm
	女子	走高跳	1m15	1m35	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	1m41	以後3cm

※練習はいずれかの希望する高さで行う。

## 8 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

## 9 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

## 10 表彰について

中学四種競技は、8位まで表彰する。

## 11 陸上競技場の使用について

- (1) 応援はスタンドで行い、競技場内に立ち入って行わない。
- (2) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっております。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

## 12 その他

- (1) 氏名・所属等の間違い、訂正があれば本部に申し出ること。
- (2) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (3) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。**

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。怪我の治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担(持参)してください。

- (4) 全国大会の標準記録を突破した学校の顧問は、本部で全国大会受付担当より必要書類を受け取る。  
**【全国標準記録】 男子四種 2500点 女子四種 2630点**

